

平成30年度特集展

# 震災遺産を考える

会期

平成31年2月11日

2月16日

(木)(土)



津波被災の跡が残る壁（南相馬市）

平成28年度までの3年間、福島県立博物館を中心とする”ふくしま震災遺産保全プロジェクト”は、震災遺産—震災を示す様々なもの—を保全し、現在は県内で震災遺産の保全が多様に継続しています。

本展覧会では、震災遺産を紹介するとともにその意味を考え、東日本大震災と向き合う機会とします。

## — 関連行事 —

- 防災講座「楽しいそなえ」 会場 実習室  
2月16日(土) 10時30分～12時 (10時開始の展示解説会にも参加できます。)  
会田理恵子 先生(にいがた防災ボランティアネットワーク事務局長)  
先着20名様(1月16日(水)よりお申し込みを受け付けます。親子で参加できます。)  
※簡単で役立つ工作をします。博物館ホームページに詳細を掲載しています。
- 館長講座「中越大震災が遺したもの」 会場 講堂  
2月21日(木) 13時30分～15時  
澤田雅浩 先生(兵庫県立大学大学院准教授)・赤坂憲雄(当館館長)
- 考古学講座「災害を発掘する ～考古学から見える会津の災害史」 会場 講堂  
3月17日(日) 13時30分～15時  
荒木 隆(当館学芸員)
- ミニシンポジウム「震災を未来へ継承する」 会場 講堂  
3月23日(土) 13時30分～15時30分  
森井順之 先生(文化庁文化財調査官)・佐藤 公 先生(磐梯山噴火記念館館長)  
杉崎佐保恵(当館学芸員)
- 展示解説会 集合場所 企画展示室入口 ※各回30分程度  
■ 2月16日(土) 10時～ ■ 2月23日(土) 13時30分～  
■ 3月9日(土) 15時～ (『3.11追悼復興祈念行事 in 会津』のイベントとして行います。)  
■ 3月10日(日) 14時45分～ (ミュージアムイベント『会津の彼岸獅子』終了後に始まります。)  
■ 3月11日(月) 13時30分～14時45分 (『3.11特別版』につき解説時間を拡大します。)  
■ 3月21日(木・祝) 13時～ ■ 3月30日(土) 13時30分～ ■ 4月7日(日) 13時30分～

● 会場 福島県立博物館 企画展示室 ● 観覧料 無料

● 主催 福島県立博物館(会津若松市城東町1-25 電話 0242-28-6000)

● 休館日 3月11日(月)を除く月曜日・3月22日(金)[祝日の翌日]

● 臨時開館日 3月11日(月) ● 開館時間 9:30-17:00(最終入館 16:30)

